

AKASHI KOSEN CAMPUS GUIDE

明石高専

明石高専の学び

身につくのは技術だけじゃない

考える力。試す力。つながる力。
そのすべてが、未来をひらく人間力になる。

実験・研究・ものづくりを通じて
専門技術だけでなく、自ら考え、仲間と協働し
社会で生きる力を育てる。
それが明石高専の5年間の学びです。

教育目標

- 豊かな人間性
- 柔軟な問題解決力
- 実践的な技術力
- 豊かな国際性と指導力

明石高専で学ぶ5年間と その先の進路

明石高専は、中学校卒業後から自分の未来のために時間を使える5年制の高等専門学校です。
一般科目と専門科目をバランスよく学びながら、基礎から応用へと段階的に力を伸ばします。
実験や実習、研究を通して実践力を身につけ、卒業後は就職・進学など、多様な未来の選択肢が広がっています。

高専ってどんな学校？

高専は、高校ではなく大学と同じ高等教育機関です。中学校卒業後に入学し、5年間の一貫教育で大学レベルの専門知識を修得します。本校の本科を卒業した者には、「準学士（工学）」の称号が付与されます。本校の本科卒業後に、専攻科又は大学の科目等履修生等として所定の単位を修得した上で、大学改革支援・学位授与機構へ申請し、審査に合格した場合には、学校教育法に基づき、同機構から「学士（工学）」の学位が授与される制度があります。本校の専攻科は、大学改革支援・学位授与機構から特例適用専攻科※として認められているため、本校の専攻科において所定の学修を修了した者は、同機構へ申請することで、「学士（工学）」の学位を取得することができます。

※「特例適用専攻科」とは、大学改革支援・学位授与機構が、大学の学士課程に相当する教育を行う専攻科として認定したものです。通常は、学生が個別に学位授与申請を行い、審査及び試験に合格する必要がありますが、「特例適用専攻科」では、学校が修了予定者の申請を一括して行い、専攻科での学修成果を基に審査が行われるため、より円滑に学位授与申請を行うことができます。

5年間の学びの流れ

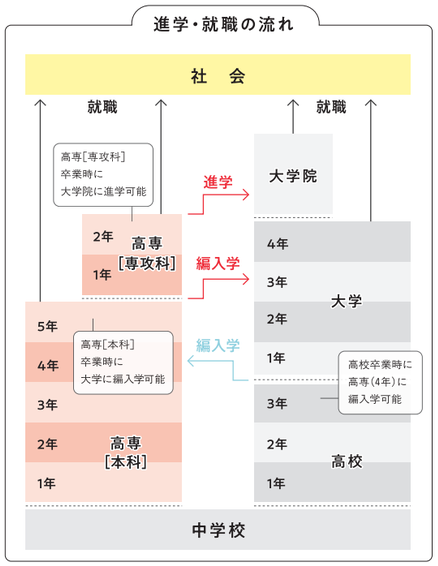
1年生　専門への入口
国語・数学・理科・英語などの基礎学力を身につけながら高専での学び方に慣れていきます。

2年生　専門科目の基礎を固める
専門科目の基礎を学び、ものづくりや技術の土台となる知識・考え方を身につけます。

3年生　実験・実習で理解する
専門的な実験・実習が本格化。学んだ知識を実際に使いながら、理解を深めていきます。

4年生　課題解決力を高める
より高度な専門知識を学び、設計・解析・研究などを通して、課題に向き合う力を養います。

5年生　卒業研究と進路選択
5年間の集大成として卒業研究に取り組み将来を見据えながら進路を決定していきます。



■ 工業高校や普通高校との違いは？

15歳から専門科目を学べる

大学より3年早く専門教育がスタート

普通高校の生徒が大学受験の勉強に追われている時間を、高専生は15歳から自分の専門キャリアへの投資に充てられます。だからこそ、5年後には将来の可能性が大きく広がっています。

受験に縛られない自由な時間

週30時間の濃密な授業と5年間で生まれる圧倒的な余白

授業は90分・1日最大4限。実験や実習を中心に、知識を得るだけでなく、実際に使える力を育てます。培った技術をベースに、放課後や休日は課外活動や研究などへ自発的に挑戦。自ら考えて行動を起こす5年間が、時代を生き抜く自走力を大きく育てます。

国立ならではの学費

年額23万4,600円

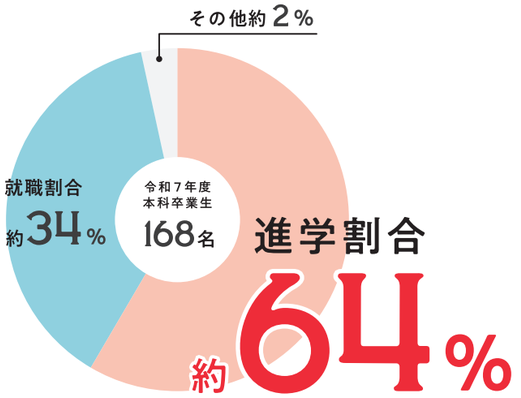
入学料は8万4,600円、授業料は年額23万4,600円です。1〜3年生は高等学校等就学支援金制度により、授業料実質無償化対象。4年生以上には高等教育の修学支援新制度による減免制度があります。

詳しくはこちら▼

明石高専の進学・就職

ほぼ100%の就職・進学率

求人倍率
約40倍



※令和7年度本科卒業者168名のうち、就職者57名・進学者107名。

高専は就職に強いイメージがありますが、**明石高専では約64%が進学**を選択。大学編入や専攻科進学など、さらに学びを深める道も大きく広がっています。就職にも進学にも強いことが、明石高専の進路の特徴です。令和7年度の本科就職者57名に対し、求人数は2,305件。**求人倍率は約40倍**にのぼります。メーカー、建設、鉄道、インフラ、IT、官公庁など、幅広い分野から求められていることも、明石高専の実践的な学びが社会から高く評価されている証です。

進学先・就職先一覧

明石高専卒業後の進路は、就職だけではありません。
5年間で身につけた専門性と実践力を活かして企業で活躍する道に加え
大学編入、専攻科進学を経て、大学院進学など、さらに学びを深める道も広がっています。

主な進学先

- 明石高専 専攻科
- 京都工芸繊維大学
- 東京大学
- 豊橋技術科学大学
- 大阪大学
- 京都大学
- 神戸大学
- 長岡技術科学大学 ほか

主な就職先

- （株）大林組
- 大成建設（株）
- 三菱重工業（株）
- 鹿島建設（株）
- 西日本旅客鉄道（株）
- （株）JALエンジニアリング
- 清水建設（株）
- 東海旅客鉄道（株）
- 花王（株）
- サントリーホールディングス（株）
- パナソニック コネクト（株）ほか

※掲載している進学先・就職先は一部です。

■ 海外大学への編入や留学も選択できる!

明石高専では、海外大学への編入や留学制度も活用できます。
世界を視野に入れながら、自分の可能性をさらに広げることができます。

その他の進学先就職先は、Webサイトをご覧ください。

THREE UNIQUE LEARNING EXPERIENCES AT AKASHI KOSEN

3つの学び 明石高専の特色である

技術力×人間力を育てる

多様な人と協働し、世界に目を向け、時代の変化に対応できる力。
それは、これからの社会で活躍する技術者にとって
専門知識と同様に不可欠な力です。
明石高専には、**技術**だけでなく**人間力**を育てる3つの学びがあります。

01
グローバル教育
世界とつながる
グローバルな学び

人間力

02
アクティブラーニング
自ら考え、仲間と挑む
アクティブラーニング

03
DX（デジタルトランスフォーメーション）
DX時代に対応する
データサイエンス・AI教育

GLOBAL EDUCATION
グローバル教育
留学、海外学生との交流
英語による専門教育を通して
世界を視野に入れて
学ぶ力を育てます。

ACTIVE LEARNING
アクティブラーニング
学年・学科を越えた
PBL※型授業「Co⁺work」などを通して
課題を見つけ、協働しながら
解決する力を養います。

DIGITAL TRANSFORMATION
DX（デジタルトランスフォーメーション）
全学科でデータサイエンス・
プログラミング・AIを学び、
専門分野にデジタル技術を
活用する実践力を身につけます。

※ PBLとは? 教員が教壇に立つ一方通行の講義ではなく、学生自身が実社会の課題を発見し解決策を提案する「課題解決型学習」

01 GLOBAL EDUCATION

グローバル教育

明石高専は、全国に51校ある国立高専のグローバル化教育を先導する学校です。在学中から世界に飛び込み、卒業後は世界の第一線で活躍できる人材を育てます。



G

15歳からグローバル思考を育成

2年生から「グローバルスタディーズ入門」という授業が始まります。世界情勢・宗教・歴史・民族問題など、現代社会が直面している課題を学び、問題解決に向けて主体的に考える力を養います。また、英語そのものを学ぶだけでなく、英語で専門科目を学ぶEMI（English as a Medium of Instruction）授業を推進しています。英語力の向上だけでなく、日本語以外の環境で専門性を発揮する力や主体的に学ぶ姿勢を育みます。2026年4月現在、6名のEMI教員が数学・物理などの一般科目から専門科目まで英語を活用した授業を担当しています。授業での英語使用率は25～100%と幅があり、図や動画、日本語の補助資料などを活用して、英語に不安のある学生も学びやすい工夫がされています。



G

年間約100名が世界へ
充実の海外研修プログラム

目的も行き先も異なる、多彩な海外研修プログラムを用意しています。現地の高校生とともに学ぶ研修（フィリピン・タイ・台湾）、大学での語学研修（アメリカ）、ボランティアプロジェクト（カンボジア）、企業インターンシップ（台湾・インドネシア・タイ・アメリカ・オーストラリア）など、毎年約100名の学生が世界へ飛び出しています。官民協働留学支援制度の「トビタテ！留学JAPAN（高校生等対象コース）※」では、これまでに53名が採択され全国トップクラスの実績を誇ります。

※「トビタテ！留学JAPAN」とは？ 文部科学省及び(独)日本学生支援機構が、日本の若者の留学機運醸成を官民協働オールジャパンで高めることを目指し、2013年にスタートした留学促進キャンペーンです。





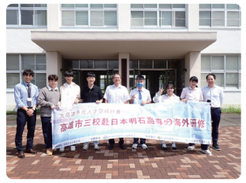


G

毎年50名以上受け入れ！
世界各国から学生が集まる充実の国際交流環境

年間を通じて世界各地から留学生を受け入れており、キャンパスにいながら国際交流を体験できる環境があります。学生有志団体「Student Ambassadors」が中心となり、さまざまな国際交流イベントを企画・運営しています。また、オンライン英会話の受講支援やネイティブスピーカーによる英会話の集中講義など、英語によるコミュニケーション力を高めるための取り組みも充実しています。





国立高専の中で海外大学編入学制度を制度化したのは明石高専が全国初！

G

豪州クイーンズランド工科大学と協定を結んでおり、所定の条件を満たして卒業した学生は、これらの海外大学へ直接編入学することができます。これまでに、豪州モナッシュ大学（QS世界大学ランキング2027で31位）、英国サウサンプトン大学（同ランキング81位）、豪州クイーンズランド工科大学（同ランキング240位）への編入学実績があります！海外進学だけでなく、海外駐在など世界の第一線でエンジニアとして活躍している卒業生も数多くいます。

実績

5年生の英語力は、大学4年生と同等以上

5年生全員を対象にTOEICテストを実施しています。本校学生の英語力は、外国語系学部を含む大学4年生数万人の平均と同等、あるいはそれ以上の水準にあります。高専5年生の全国平均も大きく上回っており、グローバル教育の成果が数字にも表れています。

02 ACTIVE LEARNING

アクティブラーニング

明石高専のアクティブラーニングは、知識を「受け取る」学びではなく、自ら「考え、動き、つくる」学びです。文部科学省のAP事業採択、三菱みらい育成財団助成事業の対象となるなど、その取り組みは全国からも注目されています。

A 1年生から始まる、「学び方」を学ぶ授業

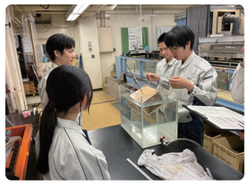
入学直後の1年生全員を対象に「アクティブラーニング入門」を開講しています。チームでの学び方や振り返りによる気づきなど、学び方そのものを経験的に習得します。さらに2〜4年生を対象とした「Co⁺work」では、3学年4学科が混在する約13名のチームで、地域や社会の課題解決に向けたテーマを自分たちで設定し、企画・計画・実践を1年かけて行います。




A グループワークで社会に必要な力を養う

授業中に学んだことを活かし、課題解決の方法をグループ単位で考える授業を多く取り入れています。グループ活動は理解力・学習定着率の向上に効果があるだけでなく、コミュニケーション力やリーダーシップを養う場にもなります。明石高専では、こうした目的で多くの授業にグループワークが導入されています。






最新のCo⁺work活動状況については
明石高専のWebサイトをご覧ください。

A 自由に考え、議論できる学びの環境

主体的な学びを支えるため、講義・会議・グループ活動などさまざまな用途に対応できる協同学習センター（Cooperative Learning Center）を学内に整備しています。壁一面がホワイトボードになった部屋や、グループワークに特化した教室など、自由な発想と議論が生まれる環境が学内のいたるところにあります。また、タブレット端末やLMS（Learning Management System）を活用した授業により、効率的な学習と教育効果の向上を図っています。




A 地域と連携した、本物の学びの場

地域貢献活動は、主体性・コミュニケーション力・協働する力を養う貴重な機会です。明石高専では地域を学びの場のひとつとして捉え、授業や課題活動における地域との協働を積極的に推進・支援しています。また1年生全学科共通の「防災リテラシー」では、防災・減災に関する高度な知識と技能を学び、修了後は「防災士」の受験資格が得られます。

実績

実践力は、国立大学4年生を上回る

対人基礎力・対自己基礎力・対課題基礎力など、社会での実践力を測るPROGテストを実施しています。明石高専4年生の平均スコアは、国立大学4年生の平均を上回り、世界で活躍する中堅社会人に匹敵する水準にあります。

03 DIGITAL TRANSFORMATION

DX（デジタルトランスフォーメーション）

明石高専では、全学科でデータサイエンスやAI教育を取り入れ、各専門分野とデジタル技術を掛け合わせた学びを推進しています。3D技術やシミュレーション、IoTなどを実験・実習に積極的に導入し、社会のDXを牽引する次世代型エンジニアを育成しています。

D 1年生からデータサイエンスやAIを学び、現場の課題を解決できる次世代エンジニアへ

明石高専では、1年生からデータサイエンスやAIの基礎を修得し、進級とともに各学科の専門領域へと応用していきます。技術や知識を得るだけでなく、実験・実習を通して現場で活かせるDXスキルを身につけ、新しい価値を創造できるエンジニアを育成します。

DX人材への成長ステップ

1年生

■基礎を学ぶ

データサイエンスやAIの基礎を習得

全学科必修科目	■データサイエンス入門 ■データサイエンス演習 ■各学科情報基礎科目

2年生以降

■データを扱う力を養う

データの収集・分析・評価

情報科目 実験・研究	■実験や研究データの収集 ■デジタル処理・統計処理 ■分析・可視化・評価(AI・機械学習)

専門科目

■各専門分野への応用と実践

基礎スキルを各学科の専門領域へ活用
現場のDXを実践的に学び、
高度な課題解決力を習得

卒業研究

■課題を解決し、新しい価値を創造

5年間で身につけたデジタルマインドと
専門技術を活かして、
社会課題の解決や新しい価値の創造に挑戦

各学科でのDXの取り組み

機械工学科

デジタルものづくり教育
3D-CADを活用した機械設計
構造解析（FEM）・流体解析（CFD）による性能評価
3Dプリンタを用いた試作品製作と設計検証
デジタルファブリケーション機器を活用したものづくり

ロボット・制御工学教育
コンピュータを用いたDCモータの回転制御
ライントレースロボットの組立とソフトウェア実装
自動車制御パラメータの最適化
ロボットマニピュレータの制御プログラミング

電気情報工学科

Compass 5.0対応「統合科目」の整備
AI・数理データ、サイバーセキュリティ、ロボット、IoT、
半導体など新時代の科目を展開

先進的な専門分野の修得
人工知能、データサイエンス、
情報セキュリティ、システム開発工学、
マルチメディア工学、宇宙工学、
情報ネットワーク、半導体工学

実践的なDXスキルの習得
組み込みシステム、
3D-CAD（FUSION360）、
IoTを取り入れた高度な実験実習

都市システム工学科

専門領域に応じたデジタル技術の導入
GIS（計画・環境系科目）　GNSS（測量系科目）
CIM（構造系科目）　ICT（材料・施工系科目）

実践的なインフラDX・施工技術
3次元測量データによる設計・
施工CIMの導入、ICT建設機械
による施工・出来形管理の実施

問題解決型カリキュラムの充実
デジタルセンシングや数値
シミュレーションを導入した
問題解決型授業を推進

建築学科

デジタル技術と専門科目の融合
構造・環境シミュレーション、GPS、GIS、3DCAD、BIMレーザーカッター等の
デジタル技術と木質系専門科目を充実

デザイン演習との連携強化
デジタル技術活用科目とデザイン系科目を統合し、
多角的な演習プログラムへ

機械工学科

あらゆるものづくりの原点
ロボットや自動車を動かす主役へ





ロボットや自動車、航空機など、あらゆる「動くテクノロジー」の基盤となるのが機械工学です。専門的な講義に加え、機械工学実験や工作実習、設計製図を通して、メカニクス、エネルギー、プロダクション、ロボティクスの4つの分野の知識と技術、および機械を構想・設計する力を体系的に学びます。理論と実践を結びつけながら、ものづくりに必要な創造力と課題解決力を高め、未来を支えるエンジニアとして活躍できる力を培います。また、多様な技術を融合しながら実社会の課題に挑戦し、社会のニーズに対応できる柔軟な発想力と実践力を養い、持続可能な社会の実現や新たな価値の創造に貢献できる人材を目指します。

機械工学科で学べること

メカニクス　MECHANICS

機械に使用される各部品について、形状・寸法・構造による強度と耐久性のちがいを学びます。さらに、気体・液体の流れや状態変化によって生じる圧力と温度の変化・伝達に関する現象を学びます。これらを応用してより高性能・高機能な機械を設計する技術を身につけます。

エネルギー　ENERGY

機械を動かすエネルギーを有効利用する技術について学びます。空気や水の流れ、熱の伝わり方、エネルギー変換のしくみを理解し、さまざまなエネルギーを効率よく動力や力学的エネルギーに変換する方法を学びます。さらに、省エネルギーで高性能な機械を設計・開発するための知識と技術を身につけます。

プロダクション　PRODUCTION

高精度部品や微細部品を製作するための加工技術を学びます。さらに、生産システムに関する知識を修得し、効率的な組立方法を学ぶことで、高性能かつ低コストな機械づくりを実現するための知識と技術を身につけます。

ロボティクス　ROBOTICS

ロボットを動かすしくみを理解し、それらを自在に操る技術を学びます。センサやアクチュエータ、コンピュータ、ソフトウェアなどを組み合わせ、周囲の状況を認識し、自ら判断して動作するロボットや知能機械を実現するための知識と技術を身につけます。

身につく力・向いている人

身につく力

- 図面を描く力
- 材料を加工する力
- 機械のしくみを理解する力
- ロボットや機械を動かす力
- アイデアを形にする力

向いている人

- ものづくりが好きな人
- 機械のしくみに興味がある人
- ロボットや乗り物が好きな人
- 手を動かして学びたい人
- 仲間と協力して課題に取り組める人

主な進路先

就職　三菱重工業(株)、川崎重工業(株)、住友ゴム工業(株)、東海旅客鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)JALエンジニアリングなど

進学　明石高専専攻科
東京大学、豊橋技術科学大学、大阪大学、神戸大学など



STUDENT'S VOICE



川西 恭平［令和5年度入学］

憧れのロボコンが、理論を形にする力を育ててくれた

小学生の頃に見たロボコンに魅せられ、明石高専へ進学しました。現在はロボット工学研究部に所属し、夢だったロボット製作に没頭。放課後は実習工場に通い詰め、機械加工に熱中する毎日を送っています。
実習や図面作成を通して学んだのは、数値を用いて厳密に考える姿勢と、図面の上だけでは分からない「現実とのすり合わせ」の大切さでした。このプロセスこそが、技術者として大きな成長だと実感しています。
学生の自主性を尊重し、充実した設備で目標に向かって挑戦できるのが明石高専の魅力です。高専で培った「理論を形にする実践力」を武器に、将来は社会の課題を解決するものづくりのスペシャリストを目指します。情熱を持つ皆さんと、共に学べる日を楽しみにしています。

FACULTY VOICE

Q1. 先生の専門分野を教えてください
自動車やエネルギー機器の性能を高める熱流体工学が専門です。エコランカー開発や水素利用など、未来の暮らしを支える研究に学生と取り組んでいます。

Q2. 機械工学科の学びの魅力は何ですか？
講義と実験が連動し、知識を実践で確かめながらバランスよく学べます。自由な発想を大切にしながら、高度な研究活動にも取り組むことで課題解決力が養われます。

Q3. どんな人が大きく成長できますか？
乗り物やロボット好きな人はもちろん、答えを知るだけで満足せず、自ら調べたり試したりするのが好きな人です。一番大切なのは好奇心。今は数学や理科が得意でなくても構いません。ひと足早く専門の世界に飛び込み、失敗を恐れず挑戦できる人なら、同じ目標を持つ仲間や恵まれた環境の中でどこまでも可能性を伸ばしていけます。



専門分野：熱流体工学

准教授　田中 誠一

電気情報工学科

スマホの裏側からAIまで
デジタル社会の主役になる





電気、電子、通信、情報は密接に結びつき、デジタル社会の基盤として目覚ましく進化しています。本学科ではこれら4分野を軸に、スマート家電や自動運転などを支える最先端技術を基礎から体系的に修得。電子回路の設計からプログラミング、AI活用に至るまで、豊富な実験と実習を通して実践的なスキルを磨きます。ハードウェアとソフトウェアの両面に精通したカリキュラムにより、目的に合わせた柔軟な技術応用力を形成。卒業後は半導体、情報通信、システム開発など多岐にわたるフィールドで、次世代の社会構造を支え未来を動かす総合的な技術者を目指します。

電気情報工学科で学べること

電気 ELECTRICAL ENGINEERING

エネルギーを生み出すための発電・送電・変電方式や電気回路の設計等について学びます。電気エネルギーはすべての動力の源となる重要な資源です。

情報 INFORMATION ENGINEERING

基本的な数理情報の取り扱いやコンピュータシステムを構成するハードウェア・ソフトウェアについて学びます。人間に匹敵する知的な装置の開発を目指します。

電子 ELECTRONICS ENGINEERING

電子素子を構成する材料やエレクトロニクスの基礎となる電子回路・計測・制御について学びます。家電製品など日常生活を豊かにするためには不可欠な分野です。

通信 COMMUNICATION ENGINEERING

有線通信・無線通信・コンピュータネットワークなどの情報通信方式について学びます。物理的な距離を越えた情報伝達のためには欠かせない技術です。

身につく力・向いている人

身につく力

- 電気エネルギーを操る力
- 最先端のAI・システムを活用する力
- 家電や電子機器を計測・制御する力
- 情報を遠くまで届ける通信構築力

向いている人

- プログラミングが好きな人
- AIやスマホの仕組みを知りたい人
- ロボットや家電にワクワクする人
- 次世代のネット社会を創りたい人

主な進路先

就職 (株)NTTデータ、パナソニックコネクト(株)、旭化成(株)、ソフトバンク(株)、三菱電機(株)、大阪府など

進学 明石高専専攻科
筑波大学、東京大学、豊橋技術科学大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、岡山大学、広島大学など



STUDENT'S VOICE



吉野 美羽［令和6年度入学］

「好き」を掛け合わせたら、自分だけの強みになった。

電気・電子への興味と自由な校風に惹かれ、明石高専へ進学しました。大学受験のない5年間は、空きコマや寮生活で深まる仲間との絆、吹奏楽部での主体的な活動など、やりたいことに柔軟に時間を使えるのが魅力です。「現状維持を変えたい」と応募した「トビタテ！留学JAPAN」への採用や留学生との交流を通じ、未体験の課題も自力で解決するたくましさが身につきました。現在は電気電子の実装力をベースに、デザインやメディアアートを融合させ、人の体験を拡張するデバイスの研究を行っています。
一見無関係に見える趣味や課外活動も、高専の専門性と結びつくことで唯一無二の強みになります。好きなものをすべて大切にしながら、明石高専で新しい可能性にチャレンジしてみませんか。

FACULTY VOICE

Q1. 先生の専門分野を教えてください
プラズマを用いた宇宙用推進エンジンの研究です。人工衛星KOSEN-3搭載用エンジンの開発や、将来の月や火星への輸送に利用できるレーザー核融合ロケット実現へ挑んでいます。

Q2. 電気情報工学科の魅力は何ですか？
博士号を持つ教員のもと、15歳からデータサイエンス・AI等の最先端技術を学べます。豊富な実験・実習で自ら電気・電子回路やプログラムを製作・実装し、実践力が早期に身につきます。

Q3. どんな人が大きく成長できますか？
何か一つでも夢中になれるものがあり、挑戦したい気持ちを持つ人です。夢が決まっていなくても問題ありません。博士号を持つスペシャリストの指導や、同じ志を持つ仲間と刺激し合える環境が明石高専にはあります。失敗を恐れず自分の「好き」を突き詰めることで、未来を動かす技術者へと大きく飛躍できます。



専門分野・プラズマ理工学
教授 梶村 好宏

都市システム工学科

巨大なインフラ建設からまちを守る防災まで 地図に残る未来を創る





道路や橋、港など、私たちの暮らしを支える社会基盤施設の整備から、地震や豪雨などの自然災害に備える防災技術まで幅広く学ぶ学科です。環境に配慮した材料の開発や、施設を長く安全に使うための技術について学び、これからのまちづくりに必要な知識を身につけます。講義で学ぶ理論を、実験や実習を通して、現場で役立つ測定技術や問題解決力につなげます。チームで課題に取り組む力やコミュニケーション能力を養い、人々が安全で快適に暮らせる社会の創造を目指し、地域から世界まで幅広く活躍できる技術者を育てています。

都市システム工学科で学べること

3つの力学 THREE CORE AREAS OF MECHANICS

都市システム工学科では、構造力学・水理学・地盤工学の3つの力学が基礎となります。橋などの構造物に影響する力、土の性質や強さ、水の流れについて学びます。

材料 MATERIALS ENGINEERING

コンクリートや鉄など、都市を構成する材料の性質について学びます。構造物をつくるための最適な材料を選び、さらに環境に配慮した新しい材料を開発します。

計画 PLANNING

快適で機能的なまちづくりを目指して、安全・安心で活力ある都市をつくる都市計画や、人々が移動しやすい便利な都市をつくる交通計画を学びます。

防災 DISASTER PREVENTION ENGINEERING

自然災害から都市を守るために強い構造物をつくり、人と人とのつながりを大切にすることで、より早く復旧・復興できる都市をつくるための技術を学びます。

環境 ENVIRONMENTAL ENGINEERING

人間の経済活動が、生態系や環境へ与える影響を調べ評価する方法を学び、失われた自然環境の復元だけでなく、今あるものを守り、新たな環境を創造する技術を学びます。

身につく力・向いている人

身につく力

- 暮らしを支えるインフラを整備する力
- 安全な構造を設計する力
- 環境に優しい新材料を開発する力
- 災害に強いまちを創り出す力

向いている人

- 巨大なものが好きな人
- 地図に残る仕事に関心がある人
- まちの防災や減災に貢献したい人
- 環境保全やまちづくりに挑みたい人

主な進路先

就職 (株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、東亜建設工業(株)、中央復建コンサルタンツ(株)、本四高速道路ブリッジエンジ(株)、関西電力(株)、官公庁など

進学 明石高専専攻科
北海道大学、東京大学、横浜国立大学、大阪大学、神戸大学など



STUDENT'S VOICE



薮 耕太［令和5年度入学］

憧れの先輩の背中が、インフラを支える夢につながった

小学生の頃、地元の憧れの先輩が明石高専生だったことが入学のきっかけです。もともと好きだった数学の面白さに加え、都市システム工学という専門分野に触れたことで、基礎知識が社会のインフラとしてどう活かされるかを実感し、一気に視野が広がりました。
明石高専の魅力は、実践的な学びを通して自分のやりたいことを見つけ、将来への道筋を描ける点です。部活動のサッカーで培うチームワークや達成感も、日々の大きな活力になっています。
今後は大学へ編入し、コンクリート構造を深く学んで自ら設計を行える技術者を目指します。「専門力を高めたい」「夢を叶えたい」という強い思いがあれば、努力は必ず形になります。ぜひ明石高専で、未来への第一歩を踏み出しましょう。

FACULTY VOICE

Q1. 先生の専門分野を教えてください
自己治癒コンクリートや残コンから製造した骨材など、構造物の長寿命化や環境負荷低減につなげるためのコンクリートを研究しています。

Q2. 都市システム工学科の魅力は？
少人数の班で取り組む実験実習は、全員が主体的に実践力を磨けます。充実した設備を使い、互いに協力し合って学べるのは大きな魅力です。

Q3. どんな人が大きく成長できますか？
人々の安全な暮らしを陰で支えたい人や、仲間と協力して大きな仕事を成し遂げたい人です。社会基盤施設の構築は一人ではできません。最初は高専の自由度に戸惑うかもしれませんが、主体性と責任感を持ち、充実した設備と環境の中で挑戦を重ねられる人なら、社会を支える頼もしい技術者になれます。



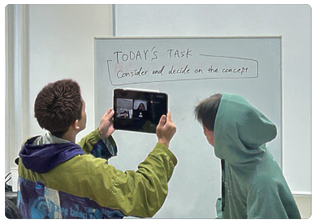
専門分野：コンクリート工学

教授 武田 宇浦

建築学科

夢を描き、未来の風景を創る





安全で美しく、快適なこれからの建築空間を追究する学科です。意匠デザイン、構造力学、住環境、建築史の4領域を軸に、空間づくりの思考法と技術を総合的に修得。手描きの製図やCADを用いた設計、敷地調査、スケール模型の制作といった多様な実習を通じ、アイデアを図面や立体へと具現化するプロセスを重ねます。自然環境との調和や機能性の確保、歴史的アプローチまで網羅したカリキュラムにより、多角的な視点を確立。個人の住まいから都市全体の景観に至るまで、多様な空間課題を解決し、人々の暮らしをより豊かに彩るプロフェッショナルを育てます。

建築学科で学べること

設計 ARCHITECTURAL DESIGN

計画、構造、環境設備の専門知識を統合し、建築や都市空間をデザインする方法を設計課題を通じて学びます。図面や模型の製作を中心に作業し、高学年では主にCADやCGを使用します。

環境 ENVIRONMENTAL ENGINEERING

自然エネルギーを有効に使い、快適な住環境をつくるために、音・熱・光・空気をどのようにコントロールするかを学びます。また、地球温暖化やヒートアイランドなどの環境問題に対して、建築がどのように貢献できるかを考えます。

計画 ARCHITECTURAL PLANNING

環境に配慮した人間の生活に必要な建物（住宅・学校・ショッピングセンター・美術館など）や場所（住宅団地・商店街・公園など）、まちづくり、日本や外国の建物の歴史や技術、知識や考え方を学びます。

構造 STRUCTURAL ENGINEERING

建物はどうやって建っているのか、どんな材料が使われているのか、また、地震に強い建物・超高層建物・新素材など、建物の構造・材料に関することを学びます。

身につく力・向いている人

身につく力

- 空間をデザインする力
- 手描きの図面や模型をつくる力
- ソフトウェアを使った2D・3Dデザインする力
- 地震に強い建物を設計する力

向いている人

- 建物や間取りを見るのが好きな人
- 自分のアイデアを形にしたい人
- 図面作成や模型製作が好きな人
- 仲間と協力してチームで課題解決に取り組める人

主な進路先

就職 (株)大林組、鹿島建設(株)、関西電力(株)、東海旅客鉄道(株)、阪急阪神不動産(株)、官公庁など

進学 明石高専専攻科
千葉大学、東京大学、横浜国立大学、神戸大学、九州大学、奈良女子大学など



STUDENT'S VOICE



池田 華［令和7年度入学］

手を動かすたびに、理想の空間が見えてきた

早期から専門知識を学び夢に近づきたいと、明石高専の建築学科へ入学しました。設計や製図、模型製作などの実践的な授業を重ねる中で、技術はもちろん、自分の強みや課題への理解も深まっています。
明石高専の魅力は、やりたいことに挑める自由な校風です。未経験で入部したクライミング部やダンスチームでは、仲間と楽しみながら継続することの大切さを学びました。学科の学びだけでなく、新しい世界へ一歩踏み出せる環境が、自身を大きく成長させてくれています。
将来は建築のプロとして現場で腕を磨き、自分がデザインした空間で多くの人を笑顔にできる技術者になりたいです。受験勉強は大変かもしれませんが、最後まで諦めずに頑張ってください。

FACULTY VOICE

Q1. 先生の専門分野を教えてください
近現代建築史が専門です。建物のデザインや建築家が時代や国を超えてどう受容され、読み替えられていくかという「建築の旅」を追究しています。

Q2. 建築学科の学びの魅力は何ですか？
15歳から5年間かけ「見る目」と「つくる手」を育てます。デザイン、技術、歴史を行き来し、現地観察や模型製作を通して立体的に学べるのが魅力です。

Q3. どんな人が大きく成長できますか？
街や古いものに惹かれ、「なぜだろう」と問い続けられる人です。建築には描画力や数学力だけでなく、観察力や試行錯誤する手が不可欠。知識の有無や絵の上手い下手を気にする必要はありません。15歳から専門環境に身を置き、日常の小さな疑問や違和感を図面や模型に変換して深めていける人なら、どこまでも面白さを開花させられます。



専門分野：建築史（近現代建築史）
准教授 江本 弘

専攻科

機械・電子システム工学専攻／建築・都市システム工学専攻

専門性を深化させ、さらなる高みへ





本科5年間の課程を修了した学生を対象とする、2年制の上位課程です。「機械・電子システム工学」と「建築・都市システム工学」の2専攻を設置し、本科で培った技術的土台をもとに、より高度な先端研究や複合領域の知識習得に挑みます。本校の専攻科は「特例適用専攻科」として認定されており、所定の要件を満たして修了し、大学改革支援・学位授与機構へ申請することで、「学士（工学）」の学位を取得できる点が大きな特徴です。最先端の分析装置や実験装置を活用した手厚い研究指導を通じ、論理的思考力と高度な問題解決能力を研ぎ澄ましします。大学院への進学や企業の研究開発職への就職など、将来の選択肢を広げ、社会を先導する技術者を育成します。

■機械・電子システム工学専攻

機械工学と電子工学を基礎とする新たな技術分野に対応でき、先端的な生産システムや工業製品の開発に貢献できる開発型人材を育成します。

■建築・都市システム工学専攻

建築学と都市システム工学を基礎として、建築・都市環境を合理的に計画、設計、構築する実践的技術力をもち、将来の技術革新に柔軟に対応できる技術者を育てます。

STUDENT'S VOICE



機械・電子システム工学専攻1年
欅田 晴希［令和8年度入学］

挑戦の数だけ、想像以上の自分になれる

超小型人工衛星「KOSEN-3」の開発に挑む傍ら、部活と同好会4つを掛け持ちし、人とのつながりを広げてきました。合唱やバンドで学んだチームワーク、日々の感情や学びを記録する日記は、自分を深く見つめ直す大切な習慣です。
専攻科に入り、学びはインプット中心からアウトプットへ変わりました。「グローバルスタディーズ」で自ら企画した英語講義や「工業材料」で他専攻の学生や先生へ専門分野を伝える経験を通じ、相手に合わせて自分の言葉で届ける難しさを実感。社会で活きるプレゼン力と広い視野が鍛えられています。
目指すのは、単に専門知識に優れた技術者ではなく、多角的な視点と豊かな引き出しを持って独自の発想を生み出せる技術者です。



建築・都市システム工学専攻1年
鹿島 美羽［令和8年度入学］

建物だけじゃない。「暮らす人の声」からまちをつくる

本科で建築を学ぶ中、地蔵盆の調査を通して、地域や人の暮らしに関わる面白さを知りました。研究をさらに深めるため専攻科へ進学。現在は明石市全体に対象を広げ、地域の方への聞き取りやマップ作成、地蔵盆の魅力を子どもたちに伝える活動に熱中しています。
建物だけでなく暮らす人の声に耳を澄ますことで、まちの見え方が大きく変わりました。音楽部で培った「周りの音を聞き協力する力」も、地域の方々と向き合う現場で活きています。
専攻科は、自分の探究心をどこまでも深く実践的に探求できる場所です。先生との距離も近く、挑戦を後押ししてくれます。将来は技術者として人々の声に丁寧に耳を傾け、心の通う、心地よい空間づくりで社会に貢献したいです。

ALUMNI VOICES

卒業生の声

技術と人間力は、社会で生きる力になる

明石高専で過ごした5年間は、卒業後の仕事や研究に、どうつながっているのでしょうか。
それぞれの分野で活躍する4人の卒業生に、高専で身につけた力と、現在について聞きました。

VOICE 01



機械工学科　2021年卒業
東海旅客鉄道株式会社　新井 菜月

自由に手を動かした5年間が、安全を支える力に

学生の自主性と自由を重んじる校風の中で、自ら考えて行動する力やものづくりの楽しさを育みました。自分で作りたいものを考えて材料から選ぶ工作実習や、有志で挑んだイベント用トロフィーの板金・溶接制作など、机上にとどまらない実践経験が多く記憶に残っています。現在はJR東海にて、新幹線のメンテナンスや車両データの分析業務に携わっています。高専時代に培った力学の基礎や実習経験、プログラミング技術は、新幹線の安全運行や業務効率化に直結しています。あの5年間があったから、今の自分がいると思っています。

VOICE 02



電気情報工学科（情報工学コース）　2026年卒業
大阪大学基礎工学部システム科学科知能システム学コース 村谷 一真

仲間との切磋琢磨が、自分の限界値を更新

高い目標を持つ優秀な仲間の熱量に刺激を受け、自分の興味領域を大きく広げることができました。授業や高専ロボコンへの挑戦を通じ、アイデアを回路やコードで動かすものづくりの楽しさを実感しました。学年や学科を超えたチームで実機を創り上げる中で、主体的に挑戦する姿勢と、諦めずにやり抜く力が磨かれました。高専で得た実践力と妥協しない姿勢は、編入先の大阪大学でヒューマノイドロボット研究や技術アシスタントを行う今も学びと挑戦の土台となっています。仲間の熱量が、自分の限界を更新し続けてくれました。

VOICE 03

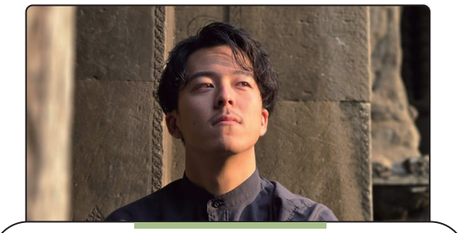


建築・都市システム工学専攻　2023年修了
大成建設株式会社　眞鍋 あゆみ

「気になる」を追い続けた先に、天職があった

オープンキャンパスで心から楽しそうに語る先輩の姿に惹かれ、明石高専へ進学しました。土質や水理などの実験で実際の現象に触れ、地図の見方が変わる感動や実践的な専門知識を深められました。また、寮生活や女子プロジェクト活動を通じ、協調性と自分の軸を持つ大切さも習得。現在は、シールドトンネルなどの設計業務に携わり、制約の中で最適な構造を導き出す面白さを実感しています。高専で得た、納得がいくまで深く考える力や多角的な視点は、正解のない社会で大きな武器です。あの頃の「気になる」が、今の私をつくっています。

VOICE 04



建築学科　2024年卒業
東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士1年　所 奈樹

答えのない問いが、私の設計の原点に

答えのない「建築設計演習」でまちに出て観察を重ね、自ら思考を深める大切さを学びました。学問にとどまらず、部活動やコンペ、ボランティアにも挑戦し、仲間と切磋琢磨する中でプレッシャーを楽しめる精神的なタフさも習得。さらに木質構造の設計事務所でのインターンシップを通じ、実際の現場技術に触れた経験は大きな財産です。高専で工学とデザインの双方を徹底して学んだからこそ、建築を多角的に捉える視点が培われました。将来は地域社会や素材の循環まで見据えた構造設計者を目指します。建築を学ぶことは、ものの見方そのものを変えてくれました。

部活動

CLUB ACTIVE

多彩な運動部・文化部・同好会が活動しており、多くの学生が授業や実験・実習と両立しながら充実した学生生活を送っています。仲間とともに目標へ挑戦する中で、技術や専門性だけでなく、協調性や主体性、コミュニケーション力も育まれます。大会やコンテスト、地域との交流など、さまざまな経験を通して、一人ひとりが大きく成長できる環境が整っています。

運動部 PICK UP!!

サッカー部



4年連続で全国高専大会に出場している伝統あるチームです。1年生から5年生までが一丸となり、日々の練習に真剣に取り組んでいます。全国でのさらなる活躍を目指しています。

男子バレーボール部



私たちは「其怨乎（それじょか）」というスローガンを掲げ、常に思いやりと感謝の心を胸に、練習に取り組んでいます。部員一人ひとりが互いに支え合いながら、日々成長できるチームを目指しています。

剣道部



全国高専大会出場を目標に、部員同士、互いに切磋琢磨しながら稽古に励んでいます。限られた稽古時間で、どうすれば強くなるか、日々試行錯誤しています。

ハンドボール部



部員の大半が未経験者で、入学してからハンドボールを始めています。2023年度から近畿高専大会を連覇しており、2025年度には全国3位に輝きました。少しでも興味がある方はぜひ一度練習に来てみてください！

バドミントン部



バドミントン部は経験者・未経験者を問わず、男女仲良く活動しています。リーダーを中心に練習メニューを考え、部員同士で教え合いながら、全国高専大会出場という目標に向かって日々努力しています。

卓球部



卓球部では各種の大会に向けて平素の練習に取り組んでいます。高校生向けの大会の他に高専大会もあり、全国大会にもよく出場しています。

文化部 PICK UP!!

吹奏楽部



明石高専吹奏楽部は明るく楽しい部活を目指して日々活動しています。演奏活動だけでなく、演奏会の企画・運営も学生が中心となって行っています。

合唱団Fons Musicae



和気あいあいと合唱を楽しむ部活です。部員は約30名で週3回活動し、アカペラや合唱曲、J-POPなど幅広い曲を練習中！学校行事や校外イベント、定期演奏会で混声合唱を披露しています。

視覚メディア研究部



視覚メディア研究部では、部員が作成した読み物やイラストなどを持ち寄って同人誌を作り、高専祭や明葉祭などのイベントで展示・配布しています。

運動部・同好会

- 野球部
- サッカー部
- 陸上競技部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- ソフトテニス部
- テニス部
- バドミントン部
- 卓球部
- 柔道部
- 剣道部
- 空手道部
- ハンドボール部
- 水泳部
- クライミング部
- フットサル同好会

文化部・同好会

- 吹奏楽部
- 音楽部
- 茶道部
- 合唱団 Fons Musicae
- ロボット工学研究部
- 情報工学研究部
- 視覚メディア研究部
- Web製作研究部
- 宇宙工学研究部
- エコランプロジェクト
- 棋道同好会
- ものづくり研究会
- ESS
- D-PRO135°
- 写真同好会

公式インスタグラムで高専ならではの部活・同好会も紹介しています。
以下二次元コードからチェック！

DORMITORY

明石高専学生寮「潮寮」は仲間と学び、支えあいながら過ごす場所

共同生活を通して、自立する力や協調性を育みながら、充実した学生生活を送ることができます。
教職員や仲間に支えられ、多くの出会いや経験を通して人としても成長できる環境です。



男子寮



女子寮



国際寮

■ 寮での行事 EVENT

新入生歓迎会／学寮防災訓練／寮祭／寮生体育祭／
クリスマス会／予餞会









居室（例）



国際寮交流スペース

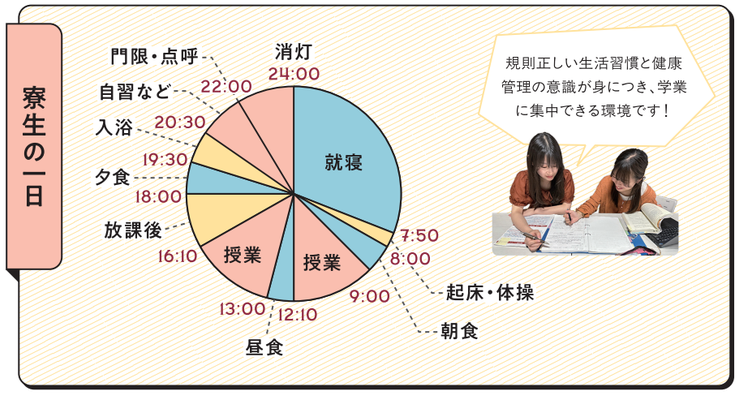


食堂



洗濯室（例）

寮生の一日



INSTAGRAM

寮生のリアルな声を公式インスタグラムで発信しています。

公式インスタグラム
「CAMPUS TALK」をチェック!

CAMPUS LIFE

学びも、挑戦も、思い出も。

5年間には、仲間と夢中になれる時間がたくさんあります。
学校行事や学外研修、インターンシップなど、多彩な経験を
通して、技術だけでなく、人としても大きく成長できます。

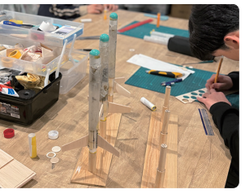








SCHEDULE



5 MAY
- 寮祭









4 APRIL
- 入学式
- 始業式
- TOEIC IPテスト

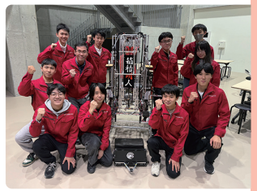
6 JUNE
- 明葉祭（文化発表会）
- 近畿地区高専体育大会

7 JULY
- 近畿地区高専体育大会
- TOEIC IPテスト

8 AUGUST
- 前期試験
- 夏季休業（8~9月）
- 全国高専体育大会
- インターンシップ（8~9月）

9 SEPTEMBER
- オープンキャンパス
- 夏季海外研修

10 OCTOBER
- 2年バス旅行
- 3年合宿研修
- 5年見学旅行
- 全国高等専門学校
  プログラミングコンテスト
- 近畿地区高等専門学校
  ロボットコンテスト



11 NOVEMBER
- 高専祭
- スポーツ大会
- 全国高等専門学校
  デザインコンペティション
- 全国高等専門学校ロボットコンテスト
- 近畿地区高等専門学校
  英語プレゼンテーションコンテスト

12 DECEMBER
- 冬季休業（12~1月）

1 JANUARY
- 全国高等専門学校
  英語プレゼンテーションコンテスト

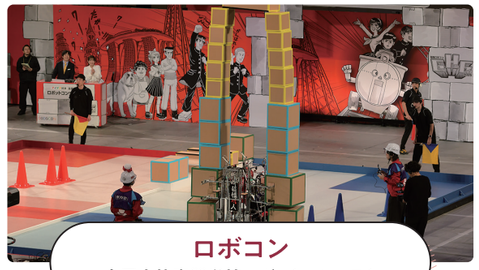
2 FEBRUARY
- 後期試験
- 終業式



3 MARCH
- 卒業式
- 修了式
- 学年末休業

全国の高専生と競い、仲間と挑み、自分を超える

学んだ知識や技術を実践する全国規模のコンテストに数多く参加しています。
ロボット製作やプログラミング、デザイン、プレゼンテーションなど、それぞれの得意分野で挑戦できるのが高専ならではの魅力です。
試行錯誤を重ね、仲間と力を合わせて挑んだ経験は、確かな技術力と人間力につながります。



ロボコン
全国高等専門学校ロボットコンテスト

アイデアとものづくりの力で課題解決に挑むコンテストです。企画から設計・製作・制御までを学生自身が行い、チームでロボットを完成させます。



プレコン
全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト

英語で自らの研究やアイデアを発信するコンテストです。論理的に伝える力と国際的なコミュニケーション力を磨きます。



デザコン
全国高等専門学校デザインコンペティション

建築・空間・ものづくり・地域課題などをテーマに、デザインの力で社会課題の解決を目指します。発想力とプレゼンテーション力が問われます。



プロコン
全国高等専門学校プログラミングコンテスト

ICT技術を活用して新しい価値を生み出すコンテストです。プログラミング技術だけでなく、企画力や課題解決力も求められます。

さらに広がる挑戦の舞台

エコラン



Honda エコ マイレッジ チャレンジ・Ene-1 Challenge

エネルギー効率を追求した車両を製作し、燃費や走行性能を競います。設計から製作、走行までを学生が主体となって行います。

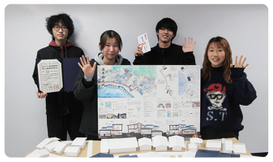
パソコン甲子園



全国高等学校パソコンコンクール パソコン甲子園

プログラミングや情報処理などの知識・技術を競う全国大会です。情報分野の実践力と発想力を高めます。

建築甲子園



高校生の「建築甲子園」

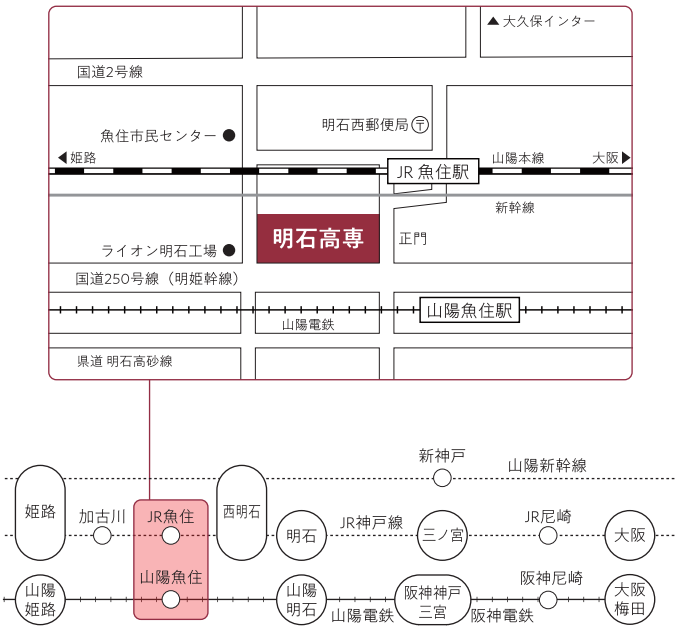
建築やまちづくりをテーマに、アイデアや設計力を競うコンテストです。社会課題を建築の視点から考え、提案する力を養います。

[受賞歴]

ロボコン／2025全国大会 アイデア賞・ベスト4　　プレコン／2025全国大会 チーム部門 2位、2021全国大会 チーム部門 優勝
デザコン／空間デザイン部門2022 優秀賞、創造デザイン部門2021 最優秀賞、構造デザイン部門2021 審査員特別賞、プレデザコン部門2020 最優秀賞
プロコン／課題部門2025 敢闘賞、自由部門2025 敢闘賞　　エコラン／Ene-1 Suzuka Challenge 2023 優勝
パソコン甲子園／プログラミング部門2025 審査委員特別賞　　建築甲子園／全国大会2025 奨励賞（4作品）、2021 準優勝

ACCESS

〒674-8501 兵庫県明石市魚住町西岡679-3



●山陽魚住駅徒歩約10分　●JR魚住駅徒歩約5分

CONTACT

明石高専総務課総務係

tel : 078-946-6017

mail : soumu.jim@akashi.ac.jp

https://www.akashi.ac.jp

明石高専

公式Webサイト

Instagram

国立明石工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Akashi College